

〔 名前 〕 日高由貴

〔 職位 〕 特任講師

〔 保有学位 〕 教育学修士

〔 担当科目 〕 卒業研究、保育実践演習、教育方法・技術論、
領域指導法（人間関係・言葉）

〔 専門分野 〕 教育学、音楽、児童文学

〔 学外活動 〕 社会福祉法人南友会 かんらんこども園第三者委員

〔 主な教育・研究業績 〕

領域指導法 （人間関係・言葉） （単独）	1. 「銀河鉄道の夜」、あるいは宮沢賢治の磁力について	単	平成28年3月	『インバシ評論：Cultures/Critiques別冊』	10頁	<u>ラジオ朗読劇の制作を手掛けた、宮沢賢治の文体について、「音楽性」とも呼びうる擬音語、擬態語の巧みさを、心奉者ともいえる熱烈な愛好者を生み出した魅力とともに先行研究をふまえて分析した。</u>
	2. 「名ざしと名づけのあわいで：あらたな関係性を紡ぐ場所としての言葉」	単	平成28年3月	『日本学報』35号	8頁	<u>茶園敏美『パンパンとは誰なのか—キャッチという占領期の性暴力とGIとの親密性』（インパクト出版会、2014年）書評。</u> <u>歴史記述における当事者と記述者の関係性について、茶園の著書、および著書についての書評、論文の分析を通し、あらたな記述の可能性を探った。</u>
	3. 「アート、という場所」	単	令和元年3月	『キッズ・ミート子どもと出会い、すれ違うアート』	2頁	<u>こどもを対象とした芸術教育の可能性について、ジャズの演奏現場での経験や人間関係をふまえて執筆した。</u>